

2025年度 学校評価のまとめ

2026.3.25

本園の【教育目標】の実現を目指し〔教育方針〕を実行するために、きょういくポリシーを制定し、2025年度10項目の重点目標を定め、その達成のために具体的方策としてそれぞれの項目に実施計画を立てその遂行に努力した。

【教育目標】

1. 負けない心の太陽の子（つよく）
～自分の弱い心に負けないことが本当の強さであることを知る～
2. お友だちを大切に作る太陽の子（たたく）
～互いを尊重し、違いを認め合う心に正しい行動の源泉があることを学ぶ～
3. 明るく朗らかな太陽の子（のびのびと）
～主体的な遊びの中で生きる力を身につけていく～

〔教育方針〕

1. 創立者の願いと期待を伝える（教育目標1, 2, 3）
2. 一人一人の人格を尊重し、寄り添い続ける（教育目標1, 2）
3. コミュニケーション能力を養う（教育目標2, 3）
4. 自他共に大切に作る心を育む（教育目標1, 2, 3）
5. 日常生活や遊びの中で、社会性を高める（教育目標2, 3）

〔I〕 創価教育「最初の門」に相応しい3年保育内容の充実で、開園51年目を新たな飛躍の年に

1. 学園3大記念週間・3学期「ありがとう週間」の取り組みによる心の育成
2. 創立者著作の創作童話を読み聞かせ等、学年に応じて保育実践に展開
3. モットー、3つの指針、今までの入園メッセージを学年に応じて保育実践に展開

4.5
4.1
3.9

【見解】 3大行事に向けての取り組みが本園の伝統である。創立者童話の読み聞かせ等も実践されている。3つの指針については、世界市民教育の育成につながる方法を模索するため、グローバルタイムとのリンクが効果的かもしれない。

〔II〕 未来を創る教育課程（カリキュラム・マネジメント）の推進

1. 「子どもの主体的な遊びや活動を通しての学び」を育む保育実践を探求
2. 日常的な遊びや生活の中での非認知能力の育成で、公開保育の成功に繋げる
3. 各種行事の意義を再確認し、目的を明確にして実施する
4. 「おうちえん」や各種たよりで、保育内容の保護者理解を深める
5. 「きょういくポリシー」の共有と実践

4.2
4.3
4.1
3.8
4.0

【見解】 「きょういくポリシー」の共有と実践をさらに進めていきたい。保護者への浸透がより本園の取り組みの理解につながる。公開保育は大きな成果を生んだ。皆様の献身的な行動に心から感謝と敬意を表したい。「おうちえん」等については保護者が必ず閲覧するよう繰り返し呼びかけていきたい。

〔Ⅲ〕 世界に開かれた心を育む幼児教育の充実

1. 海外幼稚園・姉妹校交流・創大生創価幼稚園訪問団・ゼミ生との交流の充実	4.5
2. グローバルタイムの充実	4.5
3. 専門講師によるインターナショナルタイムの充実	4.3
4. 体操教室を軸に年間を通じた基礎的な体力向上の取組み推進	3.8
5. 食育指導の充実	3.7
6. 自然環境教育の推進（池田自然広場・園庭の植栽を通して）	4.1
7. 伸びやかな絵画制作と創造性育む制作活動の推進	4.1

【見解】 体操教室の講師は、新年度から交代となる。本園の考え方に沿った体操教室になるよう期待したい。食育指導について、よりより提案あればお願いしたい。自然環境教育は来年度もユニークな取り組みを期待したい。

〔Ⅳ〕 豊かな心を育む絵本教育の充実

1. 絵本環境の充実と貸出で家庭での読書を推奨	4.4
2. 「豊かな心を育む物語・絵本から広がる保育」の深化と交流	3.9
3. 創立者の創作童話の読み聞かせや総合的展開を各学年で充実	3.9

【見解】 これからも創立者の創作童話を使った取り組みをさらに充実させていきたい。絵本の貸出しを開始し利用されるご家庭も多い。幼稚園の財産の有効活用となった。準備に当たってくださった先生方に感謝したい。

〔Ⅴ〕 「安心・安全」教育・施策の充実

1. 通園バスの安全管理の充実	3.8
2. 通園バス乗車時想定訓練の充実（バス事故・車内嘔吐等への教員実地訓練）	4.1
3. 園舎内外・通園バスにおける冬季安全策の充実 ～バス運転手・警備員との連携強化～	4.2
4. 自然災害や防犯を想定した総合的な防災安全計画・防災教育、机上訓練の充実	4.1
5. 健やかな心身を育成する遊具の充実と安全管理	4.0

【見解】 既存の避難訓練は継続をお願いしたい。災害はいつ起こるかわからないので、担任は常に園児の数を把握していただきたい。バス乗車時の災害対策マニュアルの作成、災害時の保護者との連携等について運営会議で検討し、できることから実施していきたい。

〔Ⅵ〕 寄り添い伸ばす個別支援教育の充実と保護者支援

1. 親子面談・個人面談・日常の電話連絡等で保護者との連携推進	4.3
2. シェアタイムを軸にした情報共有	4.1
3. 専門機関と連携し、個別支援・保護者相談・教育講座を充実	4.5
4. 特別支援教育の研修会への参加と研修内容の共有	4.3

【見解】 現状に即した対応を今後も継続していきたい。保護者との連携内容は必要に応じて園長・教務とも共有していただきたい。専門機関との連携も継続し、保護者相談もお願いしていきたい。また、教育講座の講師をさらに充実させていきたい。

〔Ⅶ〕 就学連携・卒園生支援の充実

1. 就学先（小学校）との就学連携の充実	4.3
2. 近隣小学校との交流の充実	4.4
3. 東西創価小学校との教員交流と子どもたちのzoom交流の充実	4.4
4. 卒園生大会の充実	4.4

【見解】 福住小とは相互交流を実現させたい。東西小とのzoom交流も継続発展させたい。東西小との教員研修、卒園生大会も引き続き充実させていきたい。

〔Ⅷ〕 豊かな幼児期を支える子育て支援の充実

1. 延長保育「ひつじっこクラブ」、長期休業中延長保育の運用充実	4.3
2. 保護者面談の充実	4.2

【見解】 ひつじっこクラブ担当スタッフと長期休業預かりスタッフを増員したい。教員による保護者面談は内容によって、園長・教務主任・学年主任・担任等、対応する教員を適切に決めていきたい。

〔Ⅸ〕 園児募集を推進する広報活動の充実

1. HPの充実、HPで保育の様子を発信とSNSの活用。	4.0
2. 見学会・説明会の充実	3.9
3. 3月の園児追加募集の適正実施	4.0

【見解】 2026年度は園児募集の推進に力を入れていくことになる。パンフレットを更新し有効活用していきたい。組織にも応援を依頼していくが、まず本園職員が率先して広報窓口になっていきたい。

〔Ⅹ〕 教育環境の整備と活用についての情報共有（話し合い）の推進

1. 各保育室の環境整備	4.1
2. 園舎・園庭の環境を生かした新しい遊び文化の計画	3.9
3. 遊びについての情報共有（話し合い）の充実	4.1

【見解】 環境整備あつての環境設定であることを確認したい。日常的に保育室と園内外の整備を心掛け、よりより環境づくりを推進していきたい。その上で遊び会議の充実をはかっていきたい。

◆各項目5段階評定の目安

- A（5）…取り組みが充分に進んだ／充分な取り組みが出来た
- B（4）…取り組みがある程度進んだ／ある程度しっかり取り組めた
- C（3）…取り組みが少しは進んだ／取り組みが進んだ部分もあった
- D（2）…進んだ取り組みもあれば後退したものもある
- E（1）…取り組みが後退した／これまでに比べて取り組みが出来なかった

◆園内評価実施にあたって

- 1) 上記の各項目評定は5段階とし、記述評価と共に全教職員で実施した。
- 2) 自己評価にあたっては、2月に全保護者を対象としたアンケートを実施し、保育の重点や子育て支援等についてご意見を伺い、園内評価委員会にて、課題と今後への取り組みに反映させた。

◆学校関係者評価委員の皆様からの評価

愛園会・宝珠会・創陽会それぞれの立場から、本園に対する過大な感謝の言葉をいただいた。愛園会・創陽会からは園児確保への意欲・ご助言もあった。来年度もさらに関係者の皆様からご理解ご支援をいただけるよう精進して参りたい。

◆財務状況

例年、6月度評議員会・理事会により、適正であると認めて頂き、8月の公表に進む。